

道徳科年間指導計画の改善に関する校内研修の例

いつ	校内研修の時間	参加者	全職員	所要時間	1時間～1.5時間
----	---------	-----	-----	------	-----------

使用資料	<ul style="list-style-type: none"> ・小(中)学校学習指導要領解説「特別の教科道徳編」第4章第1節指導計画作成上の配慮事項 ・自校の道徳教育の全体計画(別葉を含む) ・自校の道徳の時間の年間指導計画 等
------	---

時間	内 容
5分	1 研修のねらい等を確認する ・道徳教育推進教師が研修のねらいや進め方を説明する。
10分	2 年間指導計画作成する上での工夫点などを理解する。 ・学習指導要領解説を基に、年間指導計画の作成上の留意点などを確認する。
40分	3 自校の道徳科の年間指導計画の改善点について協議する。 ①全体で協議の柱を確認する。 ②個人で年間指導計画における重点内容項目の指導の回数や時期、教材等の位置付けなどの改善点を付箋等に記入する。 ③小グループで意見を整理しながら、自校の年間指導計画の改善点を協議する。 ④全体で協議の内容を共有する。
5分	4 今後の指導計画改善の進め方を確認する。 ・道徳教育推進教師は、出された意見を踏まえ、方向性を確認する。

(例)
年間指導計画を活用しやすいものにし、指導の効果を高めるために、特に創意工夫し留意すべきこととして次のことが考えられる。

- ① 主題の設定と配列を工夫する。
- ② 計画的、発展的な指導ができるように工夫する。
- ③ 重点的な指導ができるように工夫する。
- ④ 各教科等、体験活動等との関連的指導を工夫する。
- ⑤ 複数時間の関連を図った指導を取り入れる。
- ⑥特に必要な場合には他学年の内容を加える など
〔小(中)学校学習指導要領解説「特別の教科道徳編」〕

(協議の柱 例)
各学年の重点目標を踏まえ、道徳の時間の年間指導計画における重点内容項目の指導の回数や時期、教材等の位置付けをどのように改善すべきか。 など

内容や回数・時期に関することや、教材に関することなど、視点を決めて書き出すことが考えられる。

道徳教育推進教師を中心に、学校全体で取り組むことが最も大切なことです。